

InvestHK

THE HEARTBEAT OF BUSINESS

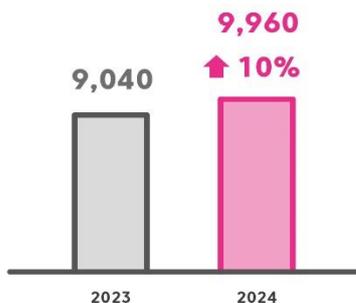
在香港外資系企業・スタートアップ数が過去最多を記録し、香港がビジネスに最適な場所であることを証明！

「2024年度香港域外に親会社を有する在香港企業に関する年次調査」および「2024年度スタートアップ調査」の結果によると、2024年に親会社が海外または中国本土に所在する香港企業数は9,960社に増加、スタートアップの総数（内資系・外資系問わず）は4,694社に増加し、いずれも過去最多となりました。

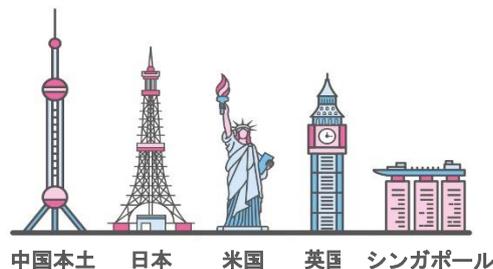
アルジャーノン・ヤウ（丘應樺）商務経済発展長官は、企業にとって香港の魅力が増しており、香港が中国本土・海外企業の事業設立・拡大に理想的な場所であることを示していると述べました。また、この調査結果は、香港に対する企業の信頼を明確に裏打ちするものです。「一国二制度」の下で独自の優位性を持つ香港は、海外企業が中国本土市場に進出し、中国本土企業がグローバル展開する上で相互に最適なプラットフォームであることから、優良な投資先として選ばれています。

アルファ・ラウ（劉凱旋）投資推進局長は、この記録的な数字は、香港のビジネス環境が新型コロナウイルスのパンデミック後、力強い成長の勢いを完全に回復したことを示している一方で、香港に本社を置く一部の企業は、香港には資本、人材、技術のハブとして明らかな優位性があると確信している、と述べました。

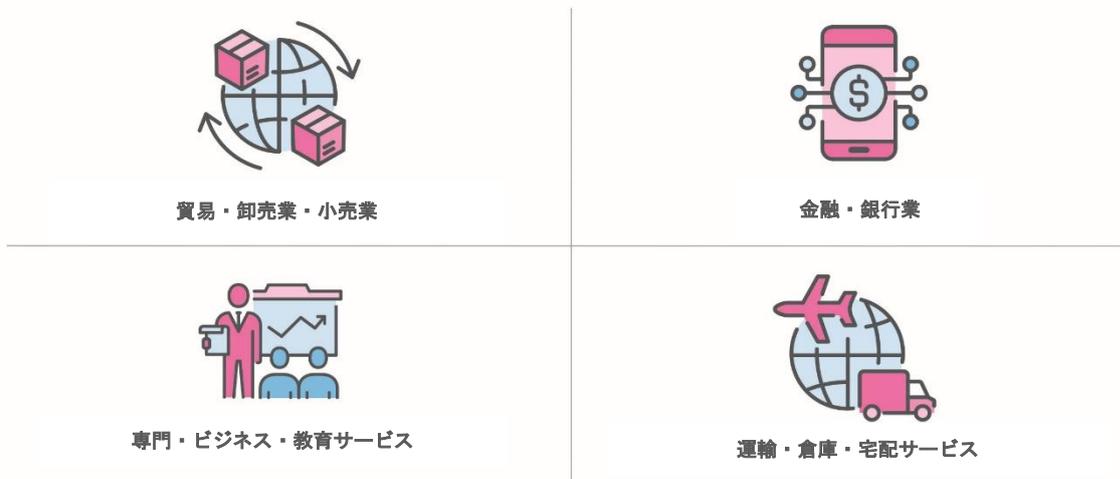
香港域外に親会社がある企業数



親会社の所在地



香港の主要な事業分野

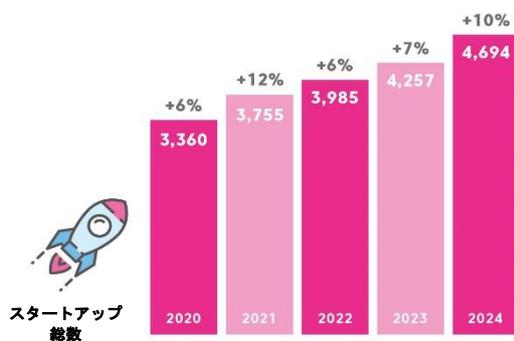


*出典: 2024 Annual Survey of Companies in Hong Kong with Parent Companies Located outside Hong Kong

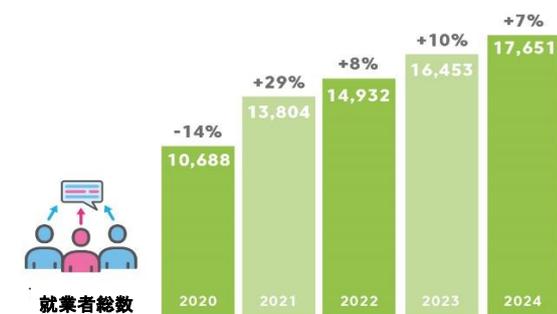
世界有数のスタートアップ・ハブであり続ける香港

香港のスタートアップを取り巻く環境は驚異的な回復力を見せ、2024年にかけて成長傾向が続いています。厳しい外部環境にもかかわらず、インベスト香港の「2024年度スタートアップ調査」の結果によると、香港のスタートアップの総数は4,694社に大きく増加し、その雇用者数は17,651人に上りました。これらは過去最多を記録し、スタートアップエコシステムの活力を裏付けています。

スタートアップ **4,694社** 2020年比 **40%増**



就業者 **17,651人** 2020年比 **65%増**



* 創業者を含むスタートアップ就業者



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

主な事業分野



フィンテック



情報・コンピュータ・技術



Eコマース



教育・学習

調査結果の詳細については、こちらをご覧ください（英語）：

2024 年度香港域外に親会社を有する在香港企業に関する年次調査



2024 年度スタートアップ調査



香港での事業の設立・拡大についてのお問い合わせ：

☎ (852) 3107 1000

✉ enq@investhk.gov.hk

🌐 investhk.gov.hk



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

国際イベント・スケジュール

2月13日 香港

ASEAN Community Spring Reception 2025

本イベントは、香港の繁栄に貢献している ASEAN のビジネス関係者に感謝を表し、香港と ASEAN 諸国との強固なパートナーシップを称える交流レセプションです。

場所: 香港

主催: インベスト香港(招待制)

2月14日 香港

HKCEA Spring Reception 2025

本イベントは、中国本土のビジネスコミュニティによる香港への貢献を祝う交流会で、香港と中国本土の強力なパートナーシップを記念するものです。

場所: 香港

主催: 香港中国企業協会(HKCEA)、インベスト香港(招待制)

2月18日~20日 香港

Consensus Hong Kong

デジタル資産および Web3 の業界で最も影響力のあるイベントである Consensus が、待望の香港デビューを果たします。香港で初めて開催される同旗艦イベントでは、グローバルリーダー、イノベーター、投資家が一堂に会し、ネットワーキング、取引、デジタル資産の未来の形成に焦点を当てた3日間の体験を提供します。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre (HKCEC)

主催: CoinDesk

▪ consensus-hongkong2025.coindesk.com

3月13日 香港

Ibero-American Community Networking Reception 2025

イベロアメリカのビジネス関係者が香港の繁栄に与えているインパクトを認知し、香港とイベロアメリカ諸国との強固なパートナーシップを称える交流イベントです。

場所: 香港

主催: インベスト香港(招待制)

3月 香港

Wealth for Good in Hong Kong Summit

香港金融サービス・財務局(FSTB)がインベスト香港と共催する本サミットは、3回目を迎えます。世界中からファミリーオフィス、アセットオーナー、ファミリーオフィス関連会社が一堂に会し、ファミリーオフィスにとって特別で待望のグローバルイベントです。

場所: 香港

主催: 香港金融サービス・財務局、インベスト香港

最新イベント情報は、investhk.gov.hk をご覧ください。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

局長ブログ：

実り多き 2024 年の総括と 2025 年のインベスト香港 創立 25 周年を記念して 投資推進局局长 アルファ・ラウ（劉凱旋）

全速力で前進

何か特別なことに取り組んでいると、時間はあっという間に過ぎるもので、香港投資促進局（インベスト香港）の局長に就任してからの1年は、まさにそのように感じました。

香港への企業誘致、ビジネスに有利な政策との協調、国際的なビジネス拠点としての香港独自の強みのアピールなど、充実した1年でした。

逆境下、香港はペースダウンしているのか？

世界的に逆風が吹く中、香港では対内投資や企業進出が着実に進んでいます。2024年、インベスト香港が完了したプロジェクトは前年比41%増の539件で、過去最高となりました。

フィンテックやサステナビリティといったセクターが、香港で活況なイノベーションとテクノロジー（I&T）エコシステムや金融サービスにおいて注目されています。一方、ファミリーオフィスの施策に弾みが付き、「新資本投資者入境計画」には多くの申請があり、240億香港ドル以上の資金が香港に集まる可能性があります。香港のスタートアップエコシステムは、現在約4,700社の活気あるネットワークに発展し、約18,000人が雇用されています。

握手から真の協力関係へ

インベスト香港は、香港独自の利点や将来性に焦点を当て、より多くの企業を誘致するため、数百ものイベントや会議を開催してきました。毎年恒例のStartmeupHK フェスティバル、フィンテックウィーク、Wealth for Good 香港サミットでは、香港の革新性や投資環境に世界の注目が集まっています。

人脈作りはビジネスにとって重要です。そのため弊局では、対内直接投資の誘致にあたって香港や世界中のネットワーク拡大に最も力を入れています。

インベスト香港は、積極的に企業に協力して香港での事業設立を促し、メディアを通じた成功事例の共有や弊局ウェブサイトやソーシャルメディアでの様々な進出事例の発信を行っています。

中国本土、ASEAN 諸国、ヨーロッパや中東のパートナーを訪問し、積極的な対話を通じて連携機会を開拓してきました。

協力関係の輪は広がり、サウジアラビア投資省、サンフランシスコ湾岸評議会、スイス・クリプトバレー協会、アブダビ商工会議所や他にも多数の組織と相互協力協定（MOU）を締結しました。企業レベルでは、バイオメディカル、化学、金融分野で重要プロジェクトを実施している企業とも同様の協定を結んでいます。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

総力を挙げて発展を目指す

局内では政策局や各部署と緊密に連携し、企業のビジネスを円滑化する建設工事の入札、資本投資者入境計画、低高度経済(高度 1km までの空域で行う経済活動)などの分野に取り組んでいます。

数や関係性を超えて、香港を進出先に選ぶすべての企業が香港経済全体に波及効果をもたらしています。香港の人材プールに新たな雇用が生まれ、革新的なスタートアップがエコシステムを豊かにし、協力関係の強化がアジア随一のビジネスハブとしての香港の役割を確固たるものにしていきます。こうした小さな成果の積み重ねが、インベスト香港の取り組みをより意義深いものにしていきます。

今後に向けて

インベスト香港は 2025 年に 25 周年を迎えるにあたり、成果を上げ、世界とのつながりを広げ、香港の経済発展の原動力となることに注力します。

2024 年は刺激的で充実した 1 年でした。次にどんなことが起こるのか常に楽しみです。香港がグローバル企業にとって魅力的なビジネス拠点であるよう、インベスト香港は高みを目指し続けます。



特集：

九龍東 (Kowloon East) - 香港の第2中心業務地区 (CBD2)

ハーバーフロントがもたらす多様性と独自性に富んだ活気あふれる ビジネスハブ

九龍東 (KE) の第2中心業務地区 (CBD2) は、ビジネス、スポーツ、文化、観光、レジャー、エンターテインメントのための先進的なインフラや施設、これらにアクセスする広範な交通網を備えた革新的な開発計画です。あらゆる規模の企業にとってビジネスに有利な環境が整備され、事業の成長や拡大、多様な顧客とのつながりを実現する無尽の機会を生み出しています。



1. 戦略的立地と香港全域との円滑な接続

KE CBD2は、九龍湾 (Kowloon Bay) 業務地区、靚塘 (Kwun Tong) 業務地区、新蒲崗 (San Po Kong) 業務地区、啓徳 (Kai Tak) 開発地区で構成され、総面積は約514ヘクタールに及びます。美しい眺望のビクトリア・ハーバーフロント沿いの同地区は、靚塘 (Kwun Tong) 線、屯馬 (Tuen Ma) 線、九中 (Central Kowloon) 幹線 (建設中) を含む香港地下鉄 (MTR) や、T2幹線道路 (建設中) などの主要道路の恩恵を受けており、開通により東西区間の移動の利便性がさらに高まるでしょう。インフラネットワークは、KEから中環 (Central) の中心業務区や他の主要交通ハブへのアクセスを大幅に向上させ、従来の中心業務区を強化する第2のCBDとして地位を築きます。KEはその戦略的立地も相まって、中国本土や海外の企業が望むアジア地域統括本部の設置先として理想的な選択肢となるでしょう。

2. 膨大な商機をもたらす多様性豊かなハブ

多国籍企業と金融機関の新たな拠点

この12年間で、KEの商業総床面積は2倍以上の約370万平米に増加しました。大規模開発計画によって、商業床面積は中環 (Central) の中心業務地区に匹敵する400万平米を超える見込みです。KE地区に新設されたグレードA高級オフィスビル群のオフィススペースは、大手多国籍企業や金融機関が次々と入居しています。2023年に九龍東で設立された事業所調査 (2023年) によると、「銀行、金融サービス、保険」と「不動産、ビジネス・専門サービス」に従事する会社設立の割合は顕著に増加し、2011年調査の約3.8倍となっています。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

スタートアップと中小企業の拠点：新たな人材の育成と商機の創出

さらに、KE は工業ビルの再生を通じて、フィンテック、イノベーションとテクノロジー、クリエイティブ産業など様々な分野のスタートアップや中小企業向けに、手頃な価格で高品質なワークスペースを提供しています。また、香港のスマートシティテクノロジーのパイロットエリアとして、大学や研究機関との連携を促し、革新的技術を研究・開発しています。新旧の街並みが混在する KE は、生活の質を高め、香港の発展につながるスマートシティ構想を形にする試みにとって理想的な場所です。

3. 文化、スポーツ、観光、エンターテインメントのワンストップハブ

世界的にも質の高い KE のインフラは、活気あるエコシステムを生み、香港の競争力を高めています。新たに完成した広さ 28 ヘクタールの啓徳体育園 (Kai Tak Sports Park: KTSP) は、香港最大のスポーツ施設です。5,000 人収容の青少年競技場、10,000 人収容の屋内スポーツセンター、50,000 人収容のメインスタジアムに加え、付帯商業施設や娯楽施設を備えた KTSP は、スポーツ、レジャー、娯楽、ショッピングをワンストップで楽しめる場所になっています。東九龍文化センター (East Kowloon Cultural Centre: EKCC) は、芸術・文化産業を発展させるインキュベーターとして、地域に新しい文化体験をもたらすでしょう。最先端の施設を備えた KE は、国際的なスポーツやエンターテインメントのメガイベント開催に適した場所にあります。こうした強みは地域経済を成長させるだけでなく、スポーツ、観光、エンターテインメント、ホスピタリティ、ショッピング、ケータリングなど様々な産業の成長を促進します。

4. レジリエンスと多機能都市を実現するブルーグリーン・インフラストラクチャー

KE は持続可能性を高めるため、環境に配慮した低炭素の建築設計と災害に強いインフラを採用しています。2024 年現在、BEAM Plus (ビームプラス) ゴールド以上の評価を受けた建物は 70 棟以上に上り、香港で最も環境配慮型ビル群を形成しています。全長 11 キロのウォーターフロントの遊歩道とともに、120 ヘクタールに及ぶ広大なオープンスペースは、屋外活動や地域交流に十分なレクリエーションスペースを提供し、緑豊かで住みやすい環境を作り出しています。

KE は、アジア随一の投資先として際立っており、比類ない商機、近代的なインフラ、イノベーションと持続可能な成長を支えるダイナミックな環境をもたらしています。

詳細は、下記をご覧ください。



育児とペットケアの頼れる味方

ベビー用品販売で人気のコンビ、香港の利点を活かし、子ども用品以外の分野にも事業を拡大

“ 香港は、効率的な交通網や近代的な施設など、高度なインフラを誇り、これらは事業運営やサプライチェーンマネジメントに不可欠です ”

Combi Hong Kong Limited
副総経理
Prisca Lam 氏



香港は、小売業の国際的拠点として世界的に高い評価を受けています。そのため、コンビが地域統括本部として香港を選んだのも不思議ではありません。斬新なデザインと高品質な素材で知られるコンビは、ベビーカー、チャイルドシート、抱っこひもなど、安全で便利、快適なベビー用品を生産しています。

近年、コンビはペットケアや知的財産の分野にも参入し、事業の多角化を目指しています。その一環として、ペットカートを開発したり、アニメ「Hey Malo!」の自社キャラクターを制作したりしています。この戦略的な展開は、一流のショッピング都市である香港のユニークな地位を活用しながら、これらの市場で高まる需要を取り込むねらいがあります。

香港の効率的なサプライチェーンマネジメント

香港には、コンビのような小売業者の地域統括本部の成長を支える独自の理由があります。Combi Hong Kong 副総経理 Prisca Lam 氏は、次のように述べました。「アジア太平洋地域の業者は、香港の戦略的、金融的、技術的な優位性から恩恵を

受けることができます。香港は、アジアのゲートウェイであり、中国、東南アジア、そして世界各地の主要市場へも容易にアクセス出来ます。この戦略的立地は、物流や流通を促進します。また、香港は効率的な交通網や近代的な施設など、高度なインフラを誇り、これらは事業運営やサプライチェーンマネジメントに不可欠です」と同氏は述べました。

香港の高級小売市場環境や消費者の高い購買力は、高級ブランドや高級品を香港に惹きつけていると Lam 氏は述べました。「香港には多様で裕福な人々が暮らしており、革新的な育児のノウハウを受け入れてくれます。また、文化や金融の中心地である香港は、域内外のファミリー世帯を惹きつけ、弊社の商品開発やマーケティング戦略を強化するための知見が得られます」

ダイナミックな人材プール

香港の利点と密接に関係しているのは、経済成長を促すための政府の大きな努力が支えるダイナミックな労働力です。「トップタレントパス計画は、熟練した専門人材の誘致を目的とした政府の重要な

取り組みのひとつです。香港は人材政策を強化し、Innovating Hong Kong — Global Talent Carnival (創新香港 - 國際人才嘉年華) のようなイベントを開催することで、世界中から人材を集めています」と Lam 氏は述べました。

同氏は、香港のビジネス上の利点に加え、香港の生活の質も高く評価しています。「香港は、東洋と西洋の様々な影響を受けた多文化都市です。活気ある社交の場や専門人材のネットワーキングイベントも数多く催され、住むにも働くにも魅力的な場所です」と締めくくりました。

コンビ

- 1957年設立、本社は東京
- 香港オフィスは1991年に設立され、2014年からは同社ブランドの地域統括本部として機能

 combi.com.hk

インベスト香港顧客紹介

■日本



KORNERSTONE Institute は、アジアにおける専門家トレーニングプロバイダーで、個人および法人会員向けに総合的なトレーニングプログラムを提供します。KORNERSTONE の頭文字の「K」は「Knowledge（知識）」を意味し、知識こそがあらゆるビジネスにとって成功の礎である、という強い信念を持っています。

20 か国以上をカバーする Trainocate グループとの戦略的合併後、KORNERSTONE は Amazon Web Services、Microsoft、Google、Alibaba Cloud、Huawei Cloud など主要なクラウドプロバイダーや、PMI、IIBA、ISACA など多くの国際認定団体の公式パートナーとなりました。デジタルトランスフォーメーション、従業員のスキルアップ、キャリアアップを専門とする同社は、今日のダイナミックなビジネス環境で活躍するために必要な専門知識を備えた高度人材の強化に尽力しています。

KORNERSTONE Institute
 専門サービス
kornestone.com



ホットチェーン弁当自動販売機プラットフォームは、レストランが従来の店舗以外にも展開できるよう支援する分散型フードサービスプラットフォームです。和田フードテック株式会社のホットチェーンロジスティクスと弁当自動販売機を活用し、オフィスロビーや学校など人通りの多い場所に設置することで、レストランは消費者の玄関先まで数秒で新鮮な温かい食事を提供することができ、新たな収益源を開拓できます。

同社の特許取得済みのモノの人工知能 (AIoT) ホットチェーン・トータルソリューションは、米国、日本、中国本土で 8 つの特許を取得しており、食品の安全性と鮮度を保証します。フォーブスの「Asia 100 to watch (注目すべきアジア企業 100 社)」に選ばれた和田フードテックは、日本、香港、オーストラリアで 80 万個以上の弁当箱を販売し、成功を収めています。

現在、和田フードテックは、香港と日本の学校にその技術を拡大し、労働力不足の解消と食品衛生管理の強化に取り組んでいます。

Kamakura Foods Limited
 食品技術
wadafoodtech.com



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局